

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第24週の発生動向

### 全数報告の感染症 (24週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。  
5類感染症：梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
5類	梅毒	日南	20歳代	男	無症状病原体保有者	—

### 定点把握の対象となる5類感染症

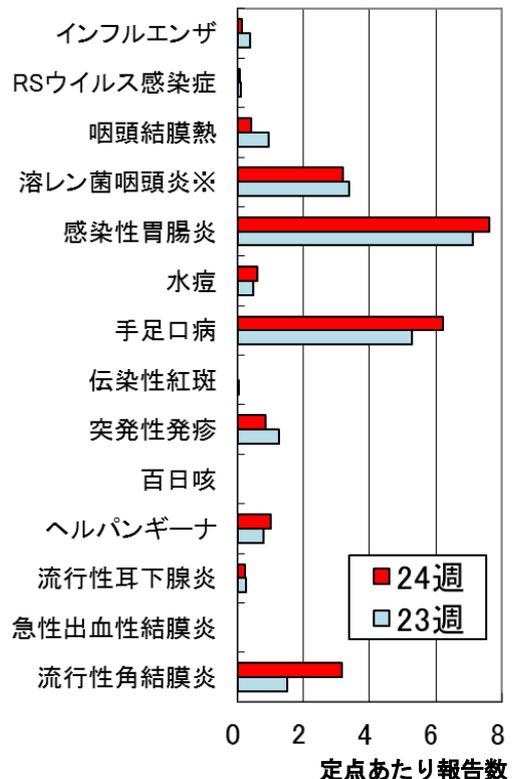
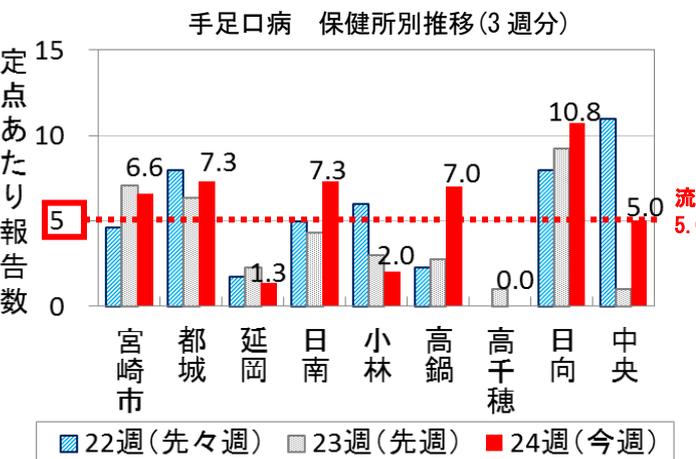
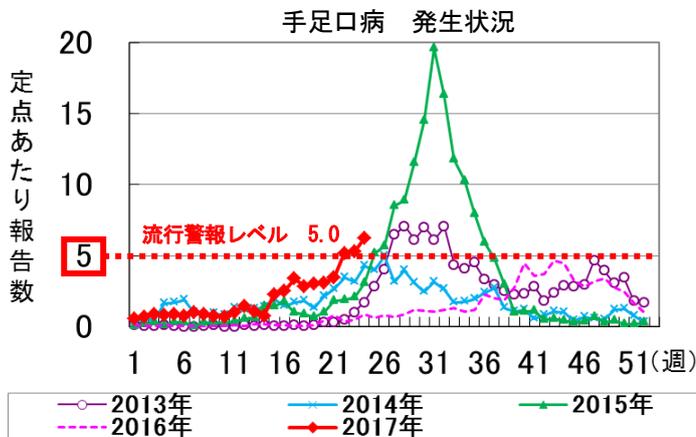
・定点医療機関からの報告総数は738人(定点当たり23.9)で、前週比110%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は手足口病と流行性角結膜炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱である。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【手足口病】

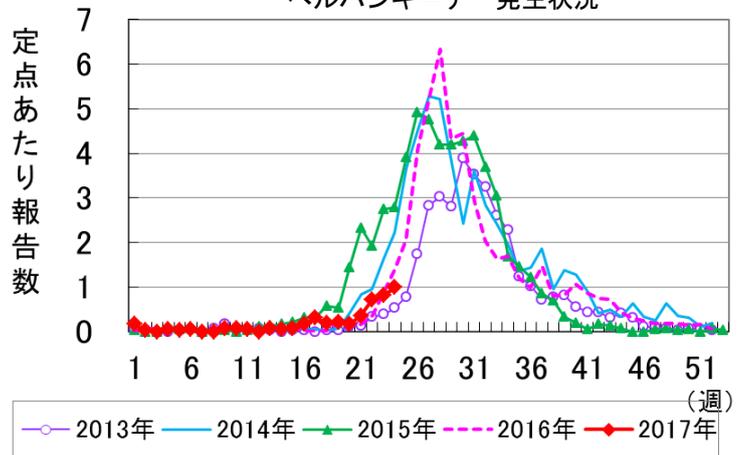
報告数は218人(6.2)で、前週比118%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(2.0)の約3.2倍である。日向(10.8)、都城、日南(各7.3)保健所からの報告が多く、年齢別は1~2歳が全体の約7割を占めた。

#### 《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

ヘルパンギーナ 発生状況



## 【ヘルパンギーナ】

報告数は35人(1.0)で、前週比124%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\*(2.3)の約0.4倍である。日南(2.3)、日向(1.5)、宮崎市(1.4)保健所からの報告が多く、年齢別は1～2歳が全体の約7割を占めた。

\* 過去5年間の

当該週、前週、後週(計15週)の平均値

## ★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：高鍋、日向(各1例)保健所から報告があり、0～4歳及び5～9歳であった。なお、病原体の群別は不明である。

## ★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(6.6)
都城	手足口病(7.3)
延岡	なし
日南	手足口病(7.3)
小林	なし
高鍋	手足口病(7.0)
高千穂	なし
日向	手足口病(10.8)
中央	手足口病(5.0)

\* 流行警報レベル開始基準値\*

・手足口病(5.0)

## □病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部 平成29年6月20日までに検出)

## ★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC(O26:H11 VT1,2)	0～4歳	女	2017.05.30	腹痛、嘔吐、発熱、軟便	便	2017.06.07

## ★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2017.04.29	手足口病疑い、38.0℃、口内炎、発疹(丘疹、紅斑)	咽頭ぬぐい液	2017.06.08
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2017.04.21	手足口病、38.0℃、丘疹	咽頭ぬぐい液	2017.06.08
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2017.04.24	手足口病、39.2℃、水疱、発疹(丘疹、紅斑)	咽頭ぬぐい液	2017.06.08
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	女	2017.03.14	不明の発疹症、38.0℃、発疹(丘疹)	咽頭ぬぐい液	2017.06.12
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2017.03.15	手足口病、39.4℃、発疹(丘疹、紅斑)	咽頭ぬぐい液	2017.06.12
インフルエンザウイルスB(山形系統)	5～9歳	男	2017.05.23	インフルエンザB型、39.9℃、頭痛、嘔気、嘔吐	咽頭ぬぐい液	2017.06.12
インフルエンザウイルスB(山形系統)	0～4歳	女	2017.04.04	インフルエンザB型、38.9℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2017.06.12
インフルエンザウイルスB(ビクトリア系統)	5～9歳	女	2017.04.26	インフルエンザB型、38.9℃、関節痛、上気道炎、腹痛	咽頭ぬぐい液	2017.06.12
インフルエンザウイルスB(ビクトリア系統)	5～9歳	女	2017.04.06	インフルエンザB型、発熱、頭痛、上気道炎	鼻汁	2017.06.12
ライノウイルス	10歳代	女	2017.05.31	麻疹疑い、40.3℃、上気道炎、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2017.06.16
パラインフルエンザウイルス3型	0～4歳	男	2017.05.23	急性上気道炎、39.2℃、上気道炎(咽頭炎)	鼻腔咽頭ぬぐい液	2017.06.16

○5名の乳幼児からコクサッキーウイルスA6(CA6)が分離された。CA6はヘルパンギーナの起因ウイルスとして知られているが、近年、手足口病患者からの分離例も増加傾向にあり、当所においても昨年の1月から6月までに分離されたCA6が0件だったのに対し、今年はずでに13件分離されている。また、全国的にも今年の1月から6月8日までに手足口病患者から分離されたウイルスの半数以上が、CA6であったと報告されている。CA6による手足口病は2011、2013年、2015年に全国で流行していることから、今年も大きな流行になる可能性があり、今後の動向に注意する必要がある。

## 🇯🇵 全国 2017 年第 23 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 23 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	419 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	50 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	3 例	A型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	5 例
	つつが虫病	6 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	10 例
	レジオネラ症	28 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	16 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	18 例
	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例
	後天性免疫不全症候群	21 例	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	49 例	水痘（入院例）	3 例	梅毒	68 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例
	風しん	1 例				

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 100%と横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと流行性耳下腺炎である。

咽頭結膜熱の報告数は 3,080 人(0.97)で前週比 102%とほぼ横ばいであり、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.71)の約 1.4 倍である。山梨県(2.0)、北海道(1.9)、奈良県(1.7)からの報告が多く、年齢別では 1~3 歳が全体の 6 割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 10,890 人(3.5)で前週比 104%とほぼ横ばいであり、例年同時期の定点当たり平均値\*(2.8)の約 1.2 倍である。鳥取県(8.4)、山形県(6.6)、大分県(6.4)からの報告が多く、年齢別では 4~5 歳が全体の約 3 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2017年 第24週(6月12日～6月18日)

疾病名		第23週	第24週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	22	8			2	6					
	定点あたり	0.37	0.14	0.00	0.00	0.33	1.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	4	3	3								
	定点あたり	0.11	0.09	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	34	15	4	2	3	2	3			1	
	定点あたり	0.94	0.43	0.40	0.33	1.00	0.67	1.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	122	112	60	5	7	16	2	5	7	7	3
	定点あたり	3.39	3.20	6.00	0.83	2.33	5.33	0.67	1.25	7.00	1.75	3.00
感染性胃腸炎	報告数	256	267	47	66	13	37	26	14	1	54	9
	定点あたり	7.11	7.63	4.70	11.00	4.33	12.33	8.67	3.50	1.00	13.50	9.00
水痘	報告数	17	21	7	6	4	3				1	
	定点あたり	0.47	0.60	0.70	1.00	1.33	1.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	190	218	66	44	4	22	6	28		43	5
	定点あたり	5.28	6.23	6.60	7.33	1.33	7.33	2.00	7.00	0.00	10.75	5.00
伝染性紅斑	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	45	30	9	4	4	4	1	2		5	1
	定点あたり	1.25	0.86	0.90	0.67	1.33	1.33	0.33	0.50	0.00	1.25	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	29	35	14	4	2	7		2		6	
	定点あたり	0.81	1.00	1.40	0.67	0.67	2.33	0.00	0.50	0.00	1.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	9	8	1		1	2		3		1	
	定点あたり	0.25	0.23	0.10	0.00	0.33	0.67	0.00	0.75	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	19	11	4	4						
	定点あたり	1.50	3.17	3.67	2.00	4.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		2						1		1	
	定点あたり	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		1.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～24週)

2類感染症	結核	91例(1)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例			
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	7例	つつが虫病 6例
	日本紅斑熱	1例	レジオネラ症	3例	
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例	急性脳炎 3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群 5例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	10例	水痘(入院例) 1例
	梅毒	6例(1)	破傷風	2例	麻疹 1例

( )内は今週届出分、再掲